

保護者の皆様

2020年4月3日

明星幼稚園

園長 渡邊 智恵子

園便り 虹



今年度初めてのお便りとなります。

本来ならばこの桜舞う暖かい春の日差しの中、ご入園ご進級のお子様をお迎えし、心からのお祝いをすることができましたものを、この未曾有の事態を前に残念でなりません。

幼い子どもたちにとって、幼稚園という場での集団生活は何にも代えがたい学びの場であり、成長の場です。その大前提が実施できないもどかしさがありますが、何よりも園児とご家族、教職員に生命の危機が迫っている恐怖が私にはあります。

当初、子どもたちは重篤な症状が出にくいといわれていました。しかし子どもを介して家族やご高齢の親族に感染が広がり最悪の事態を招きかねない事実があります。

しかし本当に子どもたちは大丈夫なのでしょうか。誰もが経験したことのない未知のウイルスです。保護者の方をはじめ、社会は未来を担う子どもたちを守ることを第1に考えなくてはなりません。

ニュースで日本と海外の感染拡大状況の変遷が比較され、日本が決して例外ではないといわれています。本当にそう思います。本来ならば首都封鎖の状況であると各所での専門家の見解が毎日のように報道されています。

明星学苑ではいち早く情報を得て、全学5月6日までの休校を決定しました。生命を守るためです。

ただし幼稚園の預かり保育は、看護、医療、介護、保育など、はっきりとした線引きは難しいものの、本当に預かりが必要な方のために開室することとしました。

教員も園児もマスク着用、各所の消毒など実施してはいますが、おそらくウイルスがひとたび襲撃してきたら避けられないと考えています。幼い子どもたちの日常です。お友だちと1～2メートル離れて、食事は向かい合わず話もせず、飛沫を飛ばさない、、、幼児では不可能です。

どうぞお願いします。ご家庭で過ごせるのであればお子様をご家庭に。後悔しないために。預かりが必要な方のためには、ご自身の使命を果たしていただくために私たち教員は不安と戦いながら精一杯努力していきます。

感染した方が入院した場合、家族は看病もお見舞いでさえできないと聞きました。最悪の場合は最期まで顔さえ見られず。そんなことがあってはならない。少なくともここで、私の知る方々の身に起きるのは嫌です。

入園式を中止しましたが、晴れて再開できた暁には心からの祝福をさせていただきたいと考えています。休園中はYouTubeで配信しようと全学年で教員がお子さんに向けて様々な動画を撮影し準備しています。お楽しみにしていってください。

「明けない夜はない」です。

その日まで頑張りましょう。